

メールニュース

No.21-042
2021年 7月 28日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

安保中央

総選挙で菅自公政権を倒して野党連合政権へ オンライン学習交流集会に参加を 8月28日(土)午後1時～4時

新型コロナウイルス感染者に対応する医療従事者



今回の学習交流集会では、市民と野党の共闘、野党間の共闘の推進に地域から全力をあげながら、基地・沖縄・安保の分野の課題をどう国民に訴え、総選挙を通じて何を前進させるかについて学習と討論を深めたいと考えています。下記の要領で集会を開催しますので、みなさんの参加を呼びかけます。

1. 日程 8月28日(土) 13:00～16:00
2. 報告 <いずれも仮題>
 - ① 菅政権の基地・安保政策を斬る
安保中央常任幹事 小泉親司さん
 - ② 総選挙に向けて市民と野党の共闘をどう進めるか
市民連合運営委員 小田川義和さん
 - ③ 沖縄のたたかいと総選挙闘争
沖縄県統一連事務局長 瀬長和男さん
3. 参加方法 詳細は、後日お知らせします。

「空母化」進める護衛艦いずも 憲法9条違反

読売新聞電子版(7/27付)は、「政府は、事実上の『空母化』に向けた改修を進める海上自衛隊の護衛艦『いずも』で、米軍の最新鋭ステルス戦闘機『F35B』による発着訓練を年内にも実施する方向で検討に入った。米軍との将来的な共同作戦を想定したもので、東シナ海や太平洋への進出を強める中国をけん制する狙いがある」と報じています。

政府は、「空母化」に改修した護衛艦いずもは原則として潜水艦の哨戒や医療活動、輸送に使用する予定とし、憲法9条との関係で保有が禁止されている「攻撃型空母」に該当しないとの見解を示しています。しかし事実上の「空母化」であり、明らかに憲法9条に違反し許されません。

日本記者
クラブ

在日米軍司令官が会見 危険な訓練を正当化



沖縄・ビーチの上空で
低空飛行するオスプレイ

在日米軍のシュナイダー司令官は7月21日、都内の日本記者クラブで会見を行いました。シュナイダー氏は、高度な現実的な訓練を日本で行うことが必要だと述べるとともに、低空飛行訓練が各地で問題になっていることに対して、確かに私たちが活動すると騒音などの問題は発生するが、重要なのは私たちの存在だ。いるだけでは意味がなく、同盟の義務を履行しなければならぬ」と、米軍によって国民生活を脅かさせていることを正当化しました。さらに沖縄で発生した米軍ヘリの不時着につ

ても、操縦者(クルー)をほめたうえで、不時着を正当化する発言をしました。米国では決して許されない住宅地での低空飛行訓練や基地周辺での夜間訓練、騒音、危険なパラシュート降下などを日本全国で行っています。最近では、CV22オスプレイによる青森県小川原湖での日米地位協定に基づき提供される施設「区域」外で勝手に訓練を行い、地元住民・漁業関係者などから苦情が出ています。今回のシュナイダー氏の発言は許されるものではなく、日本が米軍によって植民地支配されていることを示しています。菅・自公政権はアメリカ言いなり、国民の命よりアメリカ優先の姿勢です。このような政権は代えねばなりません。